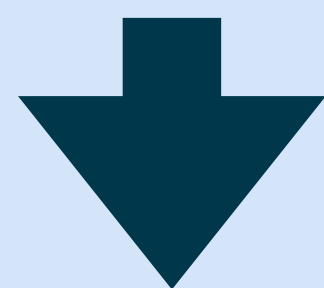




目指したい未来

- ・ 電車内全体で自然と譲り合いが起こり、みんなが不快な思いをしない。
- ・ 電車の優先席に本当に優先されるべき人が心地よく座れる。



ユズシェアを提案！

上記へ向けての第一歩とします！

現状

- ・優先席を本当に必要とする人が座ることができない。
- ・優先席の認識が人によって異なる。
- ・「お年寄りに席を譲るべき」という固定観念がある。

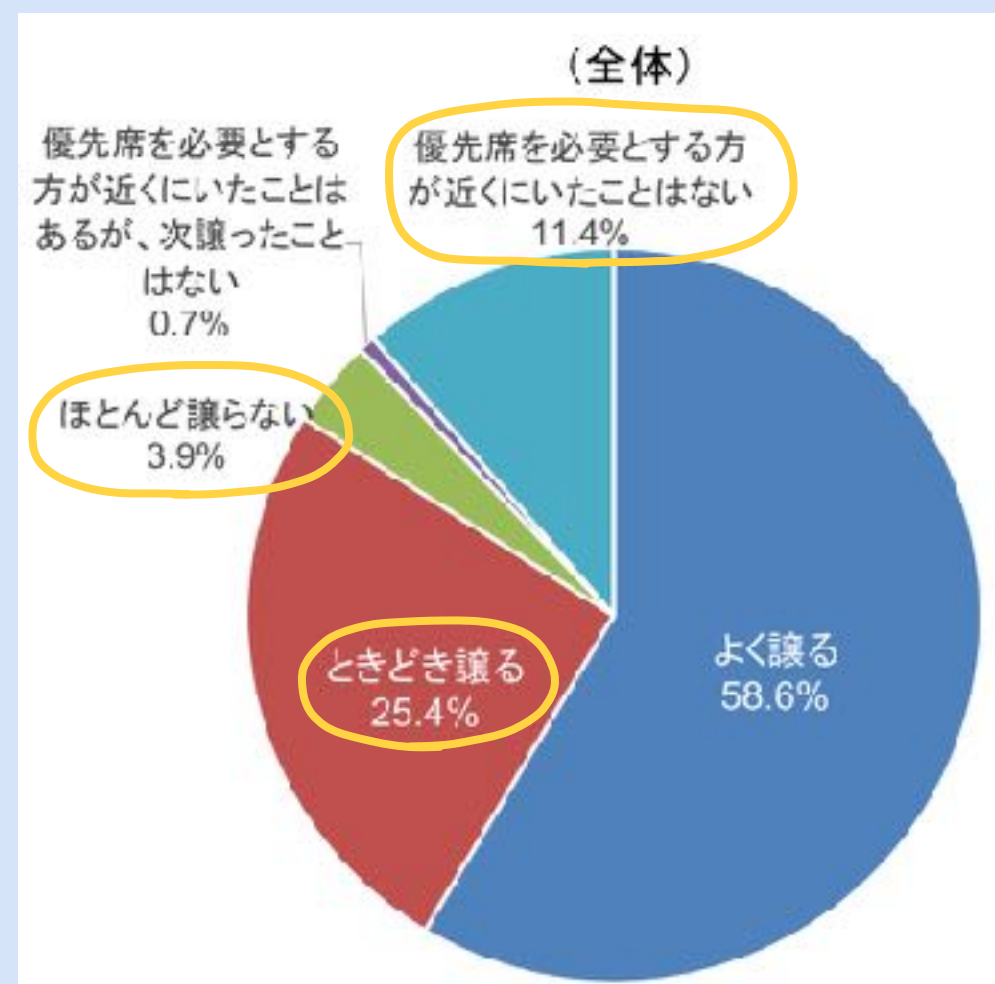
譲る→柚子
柚子には、「健康美」「汚れなき人」という花言葉があります！



国土交通省による調査

Q. 「あなたが優先席に座っている際、必要とする人がいたら席を譲りますか。」

A.



出典 国土交通省

<https://www.mlit.go.jp/monitor/R2-kadai01/19.pdf> (2024年10月31日閲覧)

問3 優先席を譲らなかった時の理由をお教えてください。(いくつでも)

※公共交通機関の利用頻度が「月に数回以上」の方、問2で「ときどき譲る」、「ほとんど譲らない」、「優先席を必要とする方が近くにいたことはあるが、譲ったことがない」と答えた方 (全体)



✔ 席を譲るという姿勢は浸透しているが、一目で判別できない場合、譲ることはできていない。



～優先席での課題を解決するために～

「どのような理由で」座っているかが分かるため、周りからの理解が得られる。

→ 「本当に優先されるべき人」が周りの目を気にせず心地よく座ることができる。

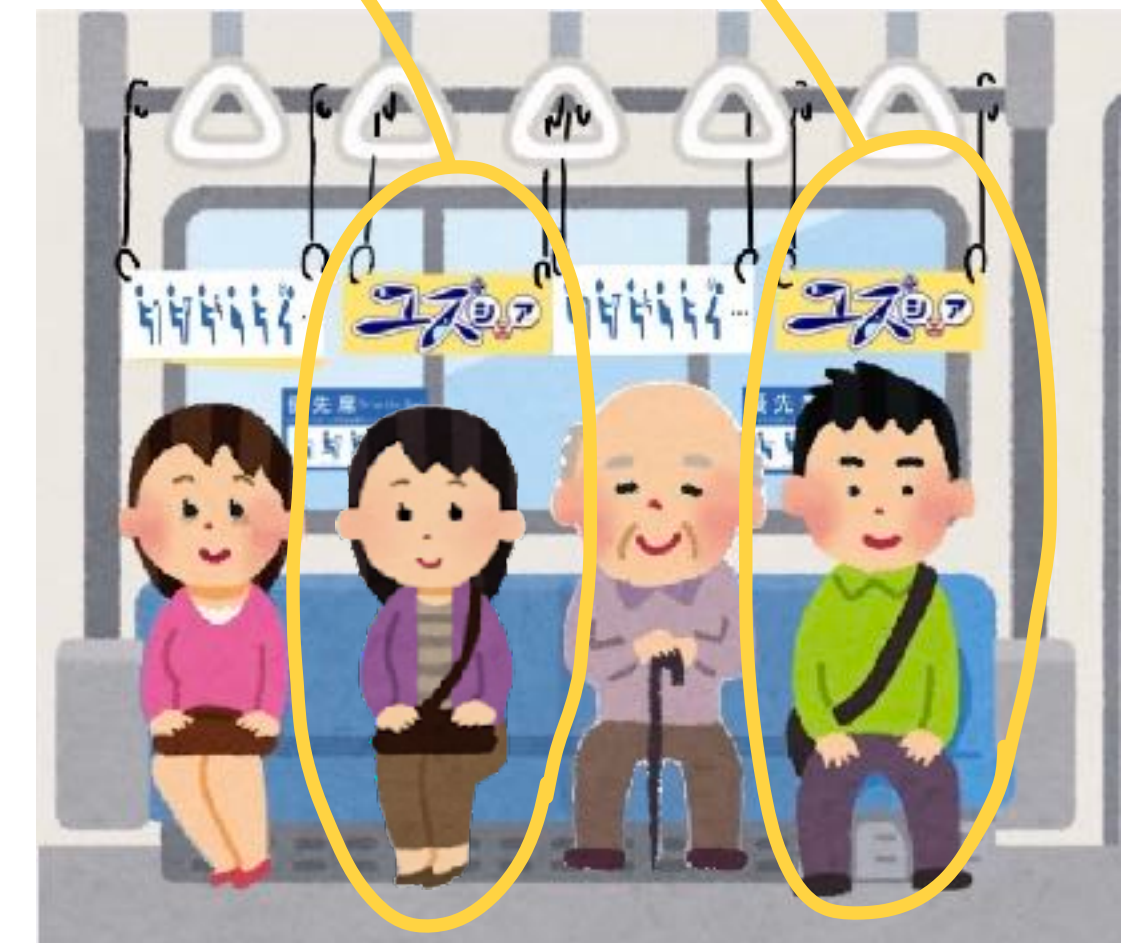
○パネルを採用した理由

優先席を必要とする人もしない人も、
ともに周りの目を気にせず座ることができる。

いつでも席を譲れる人



ユズシェアがある場合



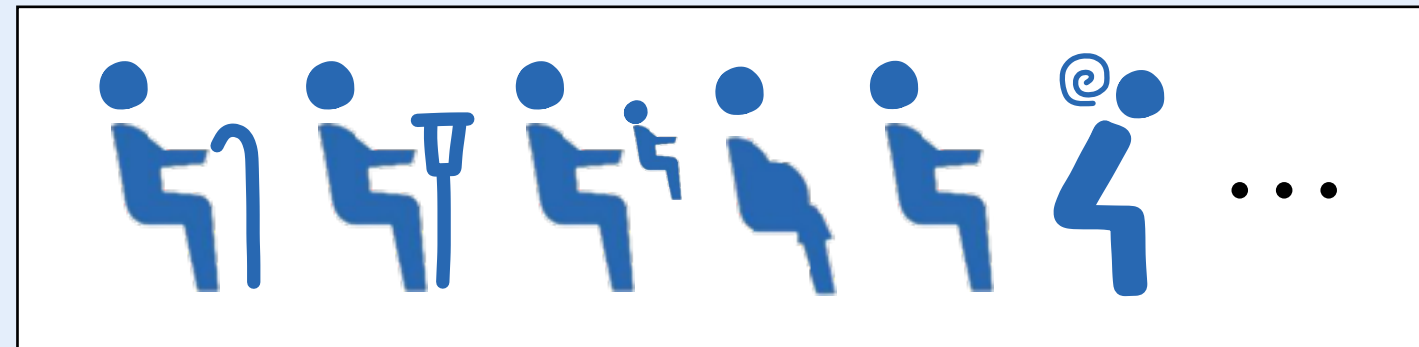
デザイン

1 枚目



元気な人が使い、いつでも譲れるということを表す。

2 枚目



身体の状態を表すピクトグラム
一般的な優先席の表示に加えて、急な頭痛
や腹痛を表すピクトグラムを表示する。
→急病の人でも周りの目を気にせず優先席を
利用できる。

お年寄り
けが人
子ども連れ
妊婦
心臓疾患
急な頭痛・腹痛
etc...

電車内の荷物置きの部分にパネルを引っ掛ける形で設置する。

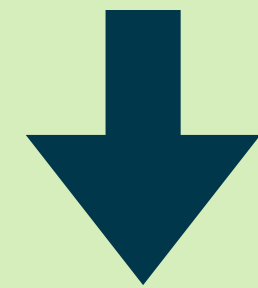
使い方

優先席が空いている、いつでも譲ることができる場合は1枚目、
優先席を利用したい場合は2枚目の状態にする。



今後の展望

- ①優先席は「専用席」ではないことの周知。
- ②ユズシェアの精神を広める。



そのために

- ・優先席が空いている場合は誰でも座ってよい。
- ・必要とする人がいたらすぐに譲る。
- ・優先席に限らず席は譲り合って使う。



という意識を広める必要がある。



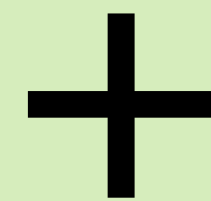
現段階で考えている案の例

譲り合い

ユズりあいでも心もフレッシュに♪

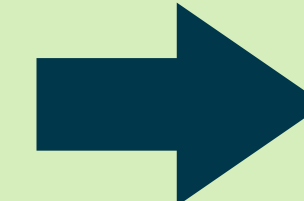


ポスター



『電車内の席には限りがございます。譲り合ってのご利用をお願いします。』

アナウンス



譲り合いが大切であると意識づけができる
&
ユズシェアの宣伝にもなる